

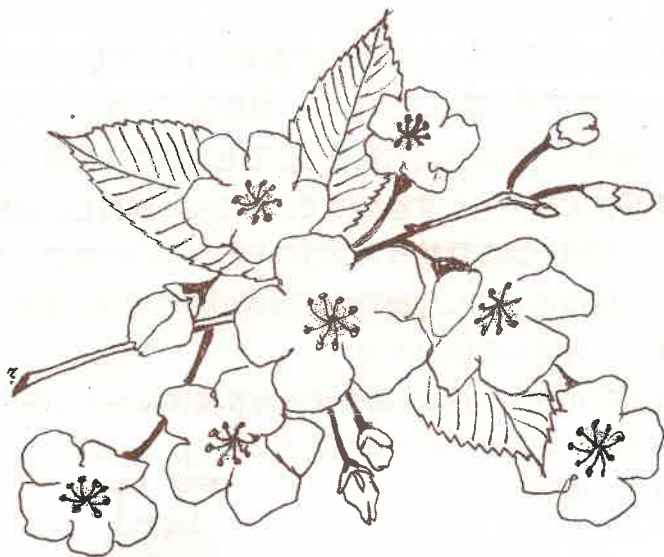
一般向け 今川図書館だより

いまがわーんど

2020年 4月号

今月のテーマ

「うららか」



新型コロナウイルス感染症の拡大により、
行事等を中止にする場合がございます。

事前にお問合せください。(03-3394-0431)



今月の特集「うららか」

待ちわびていた春の到来、4月。

どんな時代にも、誰にでも、季節は等しくめぐります。

鳥の声や花の色、自然を愛でながら、前向きに日々を楽しみましょう。うららかに、ほがらかに。



『食べて、育てる しあわせ野菜レシピ』

大橋明子 / 著 2016年 集英社インターナショナル 596円

野菜の栽培ってちょっと大変そう。でも、捨ててしまうような切れ端を少しの水や土でサポートするだけで、きちんと成長し、収穫までできるのです。ポップコーンの豆からスプラウト、ミツバやセロリの再生など、台所で育てればちょっとした薬味やお料理の彩りにぴったり。いろいろな野菜で実験してみるのも面白そう。

干からびた小さな一片が、息を吹き返す様子はドラマティック。冬の間、縮こまっていた体をぐーんと伸ばしたくなる、楽しい「食&植生活」を後押しする一冊です。



♪今川図書館のあれこれ♪



2020年4月より、今川図書館は指定管理館として新たにオープンしました。どうぞよろしくお申し込み申し上げます。

ご利用は今までと変わりませんが、ご不明な点などは、紺色のエプロンのスタッフにお気軽にお尋ねください。

『こわくてゆかいな漢字』

帳莉(ちょうり) / 著 2016年 二玄社 821円

文字のない時代、人間同士のコミュニケーションをはかるために生まれた象形文字。その中で最も古い甲骨文字が、幾度かの変遷を経て現在の漢字となった。漢字は、その時代の状況や宗教観なども含めて作られたために、その形には人間の深層心理が大いに表れている。

本書では、「四季の文字」を始め、「五感の漢字はおもしろい」、「古代人の数字の魔力」、「占いに関する漢字」など12の章に分けて漢字を紹介している。各章は短く、気負わずに読めるものばかりだ。

春の穏やかさをイメージする「麗らか(うららか)」という字は、下部が「鹿」で、上の部分が生えている角を表している。左右一対の角がきれいに生えそろうと、美しいという意味となる。春の暖かい陽ざしの中、草をはむ美しい鹿を想像しながら、季節を感じてみたいものだ。



『歩くひと』

谷ロジロー / 著 2010年 光文社 726円

「孤独のグルメ」で作画をしていた谷ロジロー先生の散歩漫画。主人公が飼い犬のゆきと散歩をするが、とりたてて何かが起こるわけではない。しかし、おやつを買う、物を捨てる、よい景色を見るとき、まったくの日常がとても心地よい。

この作品が書かれたのは、バブル時代末期の90年代。日本中が慌ただしく突っ走り、誰もが自分自身を見失っているかのように生き急いでいた時代だ。あえて、ゆっくり歩くことで見えてくる何気ないものにこそ、新鮮な輝きがあるのかもしれない。

セリフがほとんどない、大人向けの漫画。あなたもきっと、散歩したくなることでしょう。

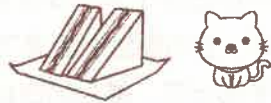


『福も来た パンとスープとネコ日和』

群ようこ / 著 2014年 角川春樹事務所 Δ038

おいしいサンドイッチとスープのお店を営むアキコは、お客様に喜んでいただけるものを提供できればと、日々まじめにコツコツと働いている。

しかし、そんなアキコの癒しだった愛猫タロが、突然天国に旅立ってしまい、アキコはその悲しみから立ち直れない。タロのこと、店のことに悩むアキコは、たったひとりの従業員シマちゃんの心優しい気遣いや、向かいの喫茶店のママの厳しくも心のこもった助言によって、ゆっくりと少しずつ元気になっていく。ありふれた日常の中に、ほっとする、うららかな春の陽のような幸せを感じる一冊です。



『観光列車旅百科』

「旅と鉄道」編集部/編 2019年 天夢人 686夕

十車十色の個性を放ち、楽しさ満開の装いで全国各地を走る観光列車。観光列車には、美しい風景を眺めながら、極上の食事を楽しむ“一度で二度おいしい”レストラン列車と、車窓の風景を堪能しながら、のんびりと季節を味わう絶景列車とがあり、どれも、走るエンターティメントのようです。

本書は『旅と鉄道』掲載を抜粋し再編集したもの。越後トキめき鉄道の「雪月花」の小旅行や大井川鉄道の探検旅のルポ、列車図鑑では全106列車を紹介。内外装のデザインの美しさとネーミングにも愛着がもてます。

本書を手にも、自分だけの旅を計画してみるのもおすすめです。



YA におすすめ!



中高生のみなさんにおすすめの本を紹介します。

『夏に泳ぐ緑のクジラ』

村上しいこ / 著 2019年 小学館 YA913 Δ

生まれた時から当たり前のように存在する家族。しかし、父も母も、お京にも抱えているものがあり、家族は崩壊寸前。お京は母に連れられ、母の生まれ故郷の島に捨てられに来た。

家族とはそれぞれが補い合って、作り上げていくもの。「どうして、家族がこわれてしまったのか。お京の家族に欠けていたものはなんなのか、自分のために死ぬまで考え続ける。」いとこの舞波やカイ、この島にまつわる伝説のパケモノ「つちんこ」と過ごす日々が、お京をたくましく育ててくれる。

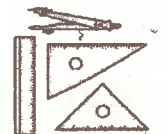
「孤独は好きとかキライじゃなくて、存在のあり方」「人生の主導権は誰にも渡さない」など、登場人物の言葉は鋭角で、胸にささる。家族を少しだけ疎ましく感じる世代の皆さんを応援してくれるだろう。



☆「YA コーナー みんなの掲示板」☆
4月のテーマ

文房具

文房具は学校生活の必需品ですね。
お気に入りの文房具、紹介してください。





今川図書館に新しく入った本の中から、おすすめを紹介します。

『世界のおつまみ図鑑』

2020年 マイナビ出版 596マ

春らんまん。桜や花を愛でながら乾杯して、楽しい気分になりたいものですね。そんな場で欠かせない「おつまみ」。本書は、世界56の国と地域の代表的なおつまみ全100種の特徴を、食文化などの豆知識や相性のいいお酒と一緒に紹介。

さらに、おつまみを楽しむためのテクニックやレシピ、おつまみ缶詰図鑑なども合わせて掲載、おいしく味わう基礎知識がぎゅっとつまっています。

オリンピックイヤーの今年、おつまみで世界に思いをはせるのはいかがでしょうか。



「ピノッキオのぼうけん」展

日時：4月25日(土)～5月6日(水)

場所：多目的室

対象：どなたでも

『ピノッキオのぼうけん』(福音館古典童話シリーズ)の挿画を手掛けた臼井都さんの挿画スケッチと、ピノッキオにまつわる品々を展示します。イタリアとピノッキオの世界を、どうぞ、お楽しみください。



ゆうゆう今川館と併設する今川図書館は、赤ちゃんからお年寄りまで、いろいろな世代が集う場所。今川図書館では、笑顔あふれる世代間交流を本の力でサポートします。

『探検！東京国立博物館 藤森照信×山口晃』

藤森照信 / 著 2015年 淡交社 069フ

日本最古の博物館「トーハク」こと東京国立博物館。そのコレクションから、本館、表慶館、東洋館などのたてものについて、その見どころ、舞台裏の保存修復室の様子、館長の人柄まで、画家と建築家の目線でユーモアたっぷりに紹介している。

上野の自然にふれながら、子供から大人まで、幅広い世代の知的好奇心を満たすのもってこいの場所。

春の陽気に誘われて、出かけてみませんか、トーハクへ。



◇展示「のびやかに、歩こう」◇



春の陽ざしをあびながら、家族みんなで歩いてみませんか。気持ちはウキウキ、からだはのびやか、笑顔があふれそうですね。

場所：1階 世代間交流コーナー



4月今川図書館カレンダー



日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
	休館日					
12	13	14	15	16	17	18
				休館日		
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

開館時間 月～土 9時～21時
 [影線]の日（日曜・祝日）は9時～17時
休館日 第1月曜日・第3木曜日

おはなし会については、児童向け図書館だよりをご覧ください。

杉並区立今川図書館

杉並区今川4-12-10 TEL 03-3394-0431